

井戸敏三兵庫県知事への公開質問状

——朝鮮学校に補助金を出し続ける理由は何ですか——

兵庫県民のために日夜ご尽力くださっていることに敬意を表します。

本日、公開質問状を提出しますのは、兵庫県民のために反する施策がとられているからです。それは朝鮮学校にたいして県が毎年一億数千万円の補助金を与え続けていることです。朝鮮学校への補助金について、これまで二十年三十年と支給を続けてきた府県が相次ぎ打ち切っています。すでに東京、大阪、神奈川、埼玉、千葉、宮城、広島、山口、新潟の九県にのぼっています。北朝鮮が二月十一日に三回目の核実験を強行したり、ミサイル発射の構えを見せていることなどへの当然の怒りからです。

三月八日には国連安保理事会在が北朝鮮への制裁決議を全会一致で可決しました。しかるに北朝鮮は反省の色なく東京、大阪、名古屋、横浜、京都の五都市を名指して日本に対してもミサイル攻撃の脅しをかけています。

こうした状況の下で朝鮮学校への補助金をこれまでどおり支給し続けてよいのかの聲が高まっています。拉致した日本人は返さず、核廃絶の願いには核実験でこたえる国と一体の朝鮮学校に対し補助金を出し続けることは、核実験や拉致行為に対する報奨金と見られても仕方がないでしょう。

朝鮮総連や朝鮮学校当局は、教育と政治は別だと声高に叫んでいます。自分たちの学校が、あたかも日本の普通の学校のような教育をおこなっていると主張しています。

私が代表を務める「朝鮮高校への税金投入に反対する専門家の会」は朝鮮中学と高校の現代史教科書四冊を入手し日本語に全訳しました。国会、マスコミ界にも彼らの教育の中身が知られるようになりました。朝鮮戦争は米韓による侵略戦争であるとか、大韓航空機爆破は韓国のでっちあげだとか、事実とかけ離れた虚偽を教えています。日本人拉致に一言の反省もないばかりか逆に日本当局は拉致を利用して「反朝鮮、反総連、反朝鮮人騒動をおこなっている」と教えています。

朝鮮学校とは、民族教育の美名の下に、金日成・金正日の極端な個人崇拜教育の場であり、朝鮮労働党の指導思想であるチュチェ思想を教え込む場であり、在日朝鮮人の子どもを金王朝の忠実な戦士に育てる学校です。文字通り政治まみれの学校です。これについては、私たちのパンフレット『朝鮮学校の秘められた目的・知られざる実態』で詳しくあきらかにしています。

こういう学校に毎年一億数千万円もの補助金を出すことは県民の理解が得られないことはいうまでもありません。県民の声に逆らう施策を続ける知事のお考えをお聞きしたい。

平成二十五年四月十五日

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会名譽代表

朝鮮高校への税金投入に反対する専門家の会代表

萩原 遼